

## カルボン酸アミド使用ガイドライン

作成年月日:2017年10月6日

作成者:Japan FRAC カルボン酸アミド(CAA)作業部会

対象とする有効成分:

作用機構	作用点とコード	グループ名	化学グループ名	有効成分名	農薬名(例)	耐性リスク備考	FRACコード
H:細胞壁生成	H5:セルロース生成酵素	CAA 殺菌剤 (カルボン酸アミド)	桂皮酸アミド	ジメトモルフ	フェスティバル	低～中 欧州においてブドウべと病の耐性菌が発生。グループ内で交差耐性がある。	40
			バリンアミドカーバメート	ベンチアバリカルブイソプロピル	プロボーズ、ベトファイター等の成分		
			マンデル酸アミド	マンジプロバミド	レーバス		

作物別散布ガイドライン:

作物	病害	推奨散布回数*	留意事項
ブドウ	べと病	2回以内/作期 (単剤は1回以内/作期)	・予防的に使用する。 ・他系統殺菌剤と輪番で使用する。
ウリ科野菜	べと病	3回以内/作期 (単剤は1回以内/作期)	・予防的に使用する。 ・他系統殺菌剤と輪番で使用する。
ジャガイモ トマト	疫病	疫病を対象とする総防除回数の 50%以内。	・予防的に使用する。 ・他系統殺菌剤と輪番で使用する。
その他	藻菌類	対象とする病害の総防除回数 の50%以内。	・予防的に使用する。 ・他系統殺菌剤と輪番で使用する。

\*:各薬剤の農薬登録の範囲(使用回数、希釈倍数、散布水量等)で使用する。

タマネギ:

CAA 殺菌剤の1作期あたりのタマネギ散布ガイドライン表

タマネギべと病に対する 殺菌剤の総散布回数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	≥10
CAA 殺菌剤の最大散布回数	1	1	1	2	2	3	3	4	4	5

留意事項:

\*各薬剤の農薬登録の範囲(使用回数、希釈倍数、散布水量等)で使用する。

\*予防的に使用する。

\*他系統殺菌剤と輪番で使用する。

注意事項

\*本ガイドラインは、耐性菌の発生遅延化を目的としています。

\*本ガイドラインは、使用する圃場において既に耐性菌が発生している病害には適用しません。

以上